



根六  
播種法(七)  
本縣農試  
石城分場  
矢ヶ崎技手  
畦の方向は點播の場合には南北に長く條播の場合には東西に設けるのが合理的である故に畑の都合が良いれば上位の如くに畦を設けるのが良い、特に春太根の如き越冬させるものは防寒の關係上東西畦でなければならぬ

播種量(反當)  
春太根一升五合、夏太根一升、秋太根五合(條播一升)四季太根二升  
本 畑  
大根は連作する方が肌を美しくなる傾向がある故に連作をなす様にする方がよい。然しながら前年病害がまだしかつた場合には連作すると病害を多くする原因となるから注意しなければならない

整 地  
本畑の整地は播種前一週間位に行ふことが必要である、播種直前に整地するとは反つて發芽を誤り或は發芽しても枯死する種苗を生ずる様になるから注意しなければならない